

# 町医者だより

<発行・お問合せ先>

おおわだ内科呼吸器内科

院長 大和田 明彦

市川市南八幡4-7-13

シャポール本八幡2階

JR本八幡駅南口(シャポール改札口)

2分ミスタードーナツ並び

ヘアサロンAsh向かいビル2階

電話 047-379-6661

おおわだ  
内科  
呼吸器内科

令和07年02月号

## 痰は鼻から出る??

当院に初診でかかれる患者さんの中に痰が鼻から出ると思っている患者さんが非常に多いです。どうやら耳鼻科の先生が、そう吹き込んでいる節があります。先日も患者さんが耳鼻科で鼻に綿棒を突っ込まれて粘性の高い分泌物が綿棒に付着したのを見て耳鼻科の先生にこれは痰ですねと言われたそうで、さすがにその患者さんもそれはないでしょうと思ったと話していました。

### 痰は気道から分泌されます。

痰は気管支にある杯（さかすき）細胞、ムチン産生細胞（気管支腺細胞）、クラウ細胞から粘液ですが、線毛細胞によって喉頭方向に運ばれて多くの場合は無意識に飲み込んでいますが、粘性が増したときには痰として喀出します。

### 痰と鼻の関係

鼻の奥（副鼻腔や鼻腔）で分泌された粘液が、喉の方に流れることがあります。これを「後鼻漏」（英語ではpostnasal drip）と言います。鼻腔の粘液クリアランス機能の異常が原因であろうと推測されていますがいまだにその病態生理は最新の総説をみてもはっきりしないようです。後鼻漏はいわゆる風邪を引いたときや鼻炎や副鼻腔炎で痰の粘性が高まったときに認めます。この後鼻漏という言葉は以前は呼吸器内科医も使用していたのですがかなり前から曖昧な言葉でできるだけしない方が良いといわれるようになって、私もまったく使用していません。この後鼻漏を痰のように感じることもありえます。冒頭の耳鼻科の先生が見ていた綿棒に付着していたものは、後鼻漏、いえいえ前から出ようと後ろから出ようと鼻水は鼻水です。

### 喉に痰がくっついて異物感がでる

これは喘息の患者さんが良く言う訴えの一つです。これも病態生理がはっきりしません。慢性上咽頭炎なる病名をいってBスポット療法なる胡散臭い治療をやっている医師もいますが、いかんせんちゃんとした論文、エビデンスがありません。細菌感染に伴い好中球が破壊され、主に核酸由来の痰の粘稠性の亢進もあり得ますが、喘息患者では好酸球の細胞死（エイトーシス）による痰の粘性亢進もその原因の大きな要因と考えられると思います（町医者だより 令和05年04月号のシャルコー・ライデン結晶を参照）。